教材教具名　「仲間はどれ?」	教科（国語）	

教材教具写真

教材教具の概略（ねらいと使い方）　※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1　ねらい　　〇仲間あつめや仲間はずれなどの課題とし、絵カードを属性により分類する力を養う。

2　発達段階など　〇物の名称や物の用途が理解できる。

3　使い方　　①動物、昆虫、生活用品、果物、乗り物の５種類の絵カードの中から、数種類の絵カードを選び混在させる。(理解度によって種類を増やす)

②１枚ずつ名称を読み上げながら絵カードを手渡し、類別してケースに入れさせる。

③評価して、物と物との関係の概念の理解を促すようにする。

児童生徒の反応や教材の評価　使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

〇 生徒が知っている物や興味や関心のある絵カードを使って「仲間あつめ」から始めたので、同じ仲間という概念がはやく理解できた。生徒の課題に合せて２種類～５種類までの分類ができるので幅広く取り組めた。

〇 「仲間あつめ」だけでなく「仲間はずれ」にも使え、物と物の関係性などの概念を理解させる教材として有効だった。